

令和2年8月17日

感染症内科を受診された患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録ならびに血液検体を使用することによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名 野生鳥獣肉による感染症の病原体診断

研究機関 市立札幌病院 感染症内科

研究責任者 感染症内科 永坂敦

研究の背景と目的

野生鳥獣肉（ジビエ）の喫食には E 型肝炎、旋毛虫などの感染症のリスクがあります。感染症の原因となる病原体の診断には、外部の研究機関での検査が必要となる場合があります。本研究では、野生鳥獣肉による感染症の診断を行い、その治療や予防に活用することを目的としています。

研究の方法

1. 対象となる患者さん

2016年1月1日以降に野生鳥獣肉（ジビエ）の喫食後、当科を受診された方

2. 利用するカルテ情報

患者背景：性別、年齢、既往歴、家族歴、ジビエ喫食歴、症状経過、治療経過

検査結果：血液検査結果、尿検査結果、胸部レントゲン結果、CT 結果

3. 利用する資料

血液検体、皮膚検体、皮疹写真

個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】

北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目
市立札幌病院感染症内科